

BCD 大阪ビジネスパーク OBP におけるエリア防災の推進

大阪ビジネスパーク

Business Continuity District

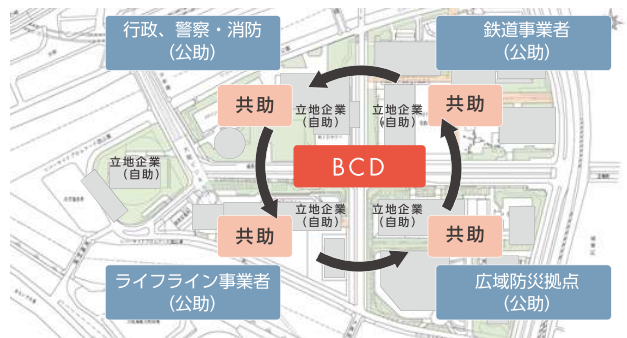
大阪ビジネスパーク（OBP）は、1986年に街開きした大阪を代表する業務・商業地区です。地区内（総面積約26ha）には、超高層オフィスビル群が建ち並び、ホテル、ホール・劇場などの集客施設も立地しています。

OBPの就業人数は約3万7千人、平日の昼間人口は約10万人。OBPが立地する京橋エリアにはJR、京阪、大阪市交通局の6駅が存在し、1日平均乗降客数の合計は約50万人となっています。OBPでは地震等の大規模災害に対して、公民連携により人的被害や地域の混乱を抑えるとともに、立地企業等の事業継続性の確保や帰宅困難者対策を目的として、平成27年に都市再生安全確保計画を策定しました。

NSRIは、OBPのエリアマネジメント活動を支援しており、その一環として、災害に強い安全なまちとしての付加価値を高め、都市の競争力を向上させるために、都市安全確保促進事業を推進しています。



エリアの将来目標像



一時退避施設（屋外）



退避経路



帰宅困難者退避誘導訓練の様子（平成29年11月21日実施）

